

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ライフライン株式会社

コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,986	1.8	148	△57.4	175	△54.7	15	△91.8
26年3月期第1四半期	5,880	10.1	347	400.9	386	656.9	194	41.3

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 16百万円 (△92.2%) 26年3月期第1四半期 216百万円 (117.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.48	—
26年3月期第1四半期	18.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	28,560	14,373	50.3
26年3月期	28,932	14,626	50.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 14,373百万円 26年3月期 14,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,265	2.9	161	△78.9	182	△77.8	7	△97.4	0.71
通期	25,539	4.8	1,076	△11.7	1,081	△19.1	491	—	45.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	11,302,497 株	26年3月期	11,302,497 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	500,541 株	26年3月期	500,541 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	10,801,956 株	26年3月期1Q	10,801,956 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
5. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(売上高について)

当第1四半期連結累計期間におきましては、本年4月に実施された保険償還価格の改定により、当社の取扱商品全般にわたり商品単価が引き下げられました。こうした中、EP/アブレーションおよび外科関連におきましては、新商品の販売が堅調に推移したことから、前年同期に比べ売上高が増加いたしました。その一方、リズムデバイスおよびインターベンションにおきましては、保険償還価格引き下げによる影響に加えて、販売数量が減少したことから、前年同期に比べ売上高は減少いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は59億8千6百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

<品目別売上高>

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日) (至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日) (至平成26年6月30日)	増減率
リズムデバイス	1,934	1,077	△44.3%
EP/アブレーション	1,969	2,698	37.0%
外科関連	1,036	1,334	28.8%
インターベンション	679	624	△8.1%
その他	260	252	△3.3%
合計	5,880	5,986	1.8%

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

リズムデバイス	心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、心腔内除細動カテーテル
外科関連	人工血管、ステントグラフト、人工心臓弁、人工弁輪、人工心肺関連商品
インターベンション	バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、血管内異物除去用カテーテル
その他	血液浄化関連商品

①リズムデバイス

心臓ペースメーカー関連におきましては、MRI（磁気共鳴画像）検査に対応した商品の導入が他社に比べ遅れていることから、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。なお、本年8月には胸郭インピーダンスモニタリング機能を備え、医師が夜間の呼吸の異常を推測することが可能な心臓ペースメーカー「REPLY200（リプライ200）」を発売する予定であることから、販売数量の増加に努めてまいります。さらに、MRI検査に対応した商品につきましても、当期末の販売開始を目指して準備を進めております。

また、ICD（植込み型除細動器）関連におきましても、厳しい競争環境を反映し、販売数量が前年同期に比べ減少いたしました。

以上により、リズムデバイスの売上高は10億7千7百万円（前年同期比44.3%減）となりました。

②EP/アブレーション

EPカテーテルにおきましては、オンリーワン製品の心腔内除細動システムの普及が進み、専用カテーテルである「BeeAT（ビート）」の販売数量が引き続き伸びてまいりました。また、同じくオンリーワン製品であり、昨年5月より販売を開始した高周波心房中隔穿刺システムにつきましても、従来の手技に比べて、多様な症例に対応が可能であるとともに、より安全性が高く、さらに心房中隔穿刺術において保険適用された唯一の商品であることから、同システムに用いる「RFニードル」の販売数量が計画を上回って推移いたしました。

以上により、EP/アブレーションの売上高は26億9千8百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

③外科関連

人工弁関連におきましては、生体弁「Mitroflow（マイトロフロー）」が狭小弁輪への植込み易さにより評価されており、堅調に推移したほか、人工弁輪「MEMO3D（メモ・3D）」も前年同期に比べ販売数量が増加いたしました。

人工血管関連におきましては、昨年5月より販売を開始した胸部用ステントグラフト「RELAY PLUS（リレイ・プラス）」が、血管追従性の高さや的確な留置を可能とするデリバリーシステムにより高く評価され、販売数量が増加いたしました。

さらに、国内初となるオープンステントグラフト「J-Graft（ジェイ・グラフト）オープンステントグラフト」の販売を本年7月より開始いたしました。同製品は連結子会社JUNKEN MEDICAL社の製品であり、胸部大動脈瘤に対する低侵襲な治療を行うことができることから、早期の普及に努めてまいります。

以上により、外科関連の売上高は13億3千4百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

④インターベンション

バルーンカテーテルにおきましては、本年4月に販売を開始した、初の自社製品である「canPass（キャンパス）」が順調に販売数量を伸ばしたものの、保険償還価格引き下げによる影響により、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

また、ガイドワイヤーにおきましては、末梢血管用の製品の販売数量が増加したものの、主力である冠動脈用の製品では、競合製品の影響により、販売数量が減少いたしました。

さらに、本年3月より発売した貫通用カテーテル「Guideliner（ガイドライナー）」の販売が好調に推移いたしました。本商品は冠動脈においてガイドワイヤーの通過部を確保する際等に用いるカテーテルであり、独自の構造により手技の効率化を可能とすることから、医療現場で評価されております。

以上により、インターベンションの売上高は6億2千4百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

⑤その他

連結子会社で販売する血液浄化関連商品等の、その他の売上高は2億5千2百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

(損益について)

①営業利益

新商品等を中心として販売が堅調に推移したことに加え、収益性が高い自社グループ製品の売上構成比が上昇したことから、売上総利益が前年同期に比べ増加したものの、旅費交通費や支払手数料等の販売費及び一般管理費が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における営業利益は1億4千8百万円（前年同期比57.4%減）となりました。

②経常利益

受取利息及び受取配当金をはじめとする営業外収益を5千1百万円、支払利息及び為替差損等を営業外費用として2千4百万円計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は1億7千5百万円（前年同期比54.7%減）となりました。

③四半期純利益

固定資産除却損及び投資有価証券評価損等の特別損失を1千9百万円計上したことから、当第1四半期連結累計期間における四半期純利益は、1千5百万円（前年同期比91.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結貸借対照表に関する分析)

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べ1億2千2百万円減少し、193億4千8百万円となりました。これは主としてたな卸資産が3億8千9百万円減少した一方で、現金及び預金が1億3千4百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2億4千9百万円減少し、92億1千1百万円となりました。これは主として有形固定資産が1億1千2百万円、投資その他の資産が1億2千2百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末から3億7千2百万円減少し、285億6千万円となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円減少し、87億6千7百万円となりました。これは主として未払法人税等が8億1千5百万円減少した一方で、仕入債務が4億2千2百万円、借入金が1億1千7百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ2億7百万円増加し、54億1千8百万円となりました。これは主として設備投資資金等として長期借入金を新規に実行したことにより2億1百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末から1億1千9百万円減少し、141億8千6百万円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円減少し、143億7千3百万円となりました。これは主として剰余金の配当を2億7千万円実施したこと、及び、四半期純利益を1千5百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高が概ね計画通り進捗した一方、販売費及び一般管理費におきましては、予算執行の進捗が遅れていることから、営業利益をはじめとする各利益段階におきましては、計画を上回る実績となりました。しかしながら、第2四半期以降につきましては、リズムデバイスにおきまして引き続き厳しい状況が予想されるほか、販売費及び一般管理費の予算執行を予定していることから、現時点におきましては平成26年5月2日に開示した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直ししておりますが、これによる計算方法の変更はなく、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,853	1,987
受取手形及び売掛金	6,935	6,966
有価証券	405	405
たな卸資産	9,106	8,717
繰延税金資産	388	236
その他	782	1,035
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,471	19,348
固定資産		
有形固定資産	6,220	6,107
無形固定資産		
のれん	132	114
その他	31	35
無形固定資産合計	164	149
投資その他の資産		
その他	3,189	3,058
貸倒引当金	△113	△104
投資その他の資産合計	3,076	2,954
固定資産合計	9,461	9,211
資産合計	28,932	28,560
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,450	1,872
短期借入金	4,270	4,270
1年内返済予定の長期借入金	723	840
未払金	857	817
未払法人税等	830	14
賞与引当金	31	290
その他	932	662
流動負債合計	9,094	8,767
固定負債		
長期借入金	2,418	2,620
長期未払金	295	295
役員退職慰労引当金	285	284
退職給付に係る負債	1,683	1,706
繰延税金負債	14	16
その他	513	495
固定負債合計	5,211	5,418
負債合計	14,306	14,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115	2,115
資本剰余金	2,328	2,328
利益剰余金	10,508	10,254
自己株式	△351	△351
株主資本合計	14,600	14,346

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	33
為替換算調整勘定	49	51
退職給付に係る調整累計額	△60	△57
その他の包括利益累計額合計	26	27
純資産合計	14,626	14,373
負債純資産合計	28,932	28,560

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,880	5,986
売上原価	2,848	2,911
売上総利益	3,031	3,075
販売費及び一般管理費	2,683	2,927
営業利益	347	148
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	1	0
業務受託料	—	30
為替差益	35	—
負ののれん償却額	0	—
その他	20	18
営業外収益合計	62	51
営業外費用		
支払利息	9	9
為替差損	—	8
支払補償費	10	—
その他	3	6
営業外費用合計	23	24
経常利益	386	175
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損	—	15
その他	—	0
特別損失合計	0	19
税金等調整前四半期純利益	386	156
法人税、住民税及び事業税	116	8
法人税等調整額	75	132
法人税等合計	191	140
少数株主損益調整前四半期純利益	194	15
四半期純利益	194	15

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	194	15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△4
為替換算調整勘定	—	1
退職給付に係る調整額	—	3
その他の包括利益合計	21	0
四半期包括利益	216	16
親会社株主に係る四半期包括利益	216	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、主な販売先は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
EP/アブレーションカテーテル類	746	916
外科関連	110	98
インターベンション	92	291
その他	160	212
合計	1,110	1,518

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

3 インターベンションの増加については、前連結会計年度末より心宜医療器械(深圳)有限公司を新規に連結の範囲に含めたことによるものあります。

②受注実績

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであり、著しい変動はありません。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
リズムデバイス	1,934	1,077
EP/アブレーション	1,969	2,698
外科関連	1,036	1,334
インターベンション	679	624
その他	260	252
合計	5,880	5,986

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。